

# 経営比較分析表

広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有効率(%)
-	該当数値なし	2.12	100.00
		5,292	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54,622	778.14	70.20
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km <sup>2</sup> )	處理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,151	0.73	1,576.71

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 平成27年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

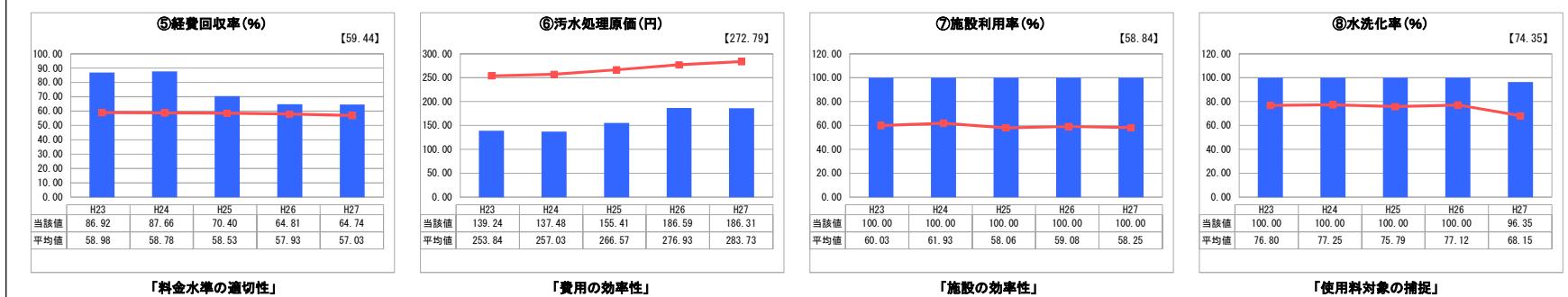
●収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率  
平成27年度は、収益的収支比率が90%程度で昨年度並みである。企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の減少に伴い平均値を下回った。

●経費回収率、汚水処理原価  
平成27年度は、経費回収率が65%程度で昨年度並みであり、平均値を上回っている。汚水処理原価も昨年度並みである。今後、浄化槽の更新時期が一斉に到来するため、計画的に修繕・更新を進め、経常経費の節減と適正な経費回収に努める。

●施設利用率、水洗化率  
施設利用率や水洗化率は平均値に比べ高い数値にある。

### 2. 老朽化の状況について

平成4年に設置したものが一番古く、今後、一斉に更新時期が到来するため、計画的な修繕・更新に努める。



### 全体総括

今後、人口減少により使用料収入の減少や更新費用の増加が見込まれるため、経常経費の節減に努め、計画的な更新を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。